

# 2015年3月期 決算説明会



**京成電鉄株式会社**

東証第一部 コード:9009

## 目次

1

経営概況

2

京成グループの取り組み

3

2015年3月期 連結決算

4

2016年3月期 連結業績予想

5

連結業績の推移

6

参考資料

➤ E2プランの各数値目標に1年前倒しで到達

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
営業収益	2,490億円	2,450億円	40億円	1.6%	2,484億円	6億円	0.2%
営業利益 (営業利益率)	243億円 (9.8%)	242億円 (9.9%)	1億円	0.3%	227億円 (9.1%)	16億円	7.1%
経常利益	372億円	370億円	2億円	0.5%	349億円	23億円	6.5%
当期純利益	257億円	270億円	△14億円	△5.0%	248億円	9億円	3.6%
有利子負債 残高 (EBITDA倍率)	3,535億円 (7.6倍)	3,692億円 (8.0倍)	△157億円	△4.3%	3,550億円 (7.9倍)	△15億円	△0.4%

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率＝有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

1

## 鉄道輸送人員・旅客運輸収入

### 当社鉄道輸送人員

(単位:千人)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
輸送人員	266,439	266,953	△514	△0.2%	264,675	1,764	0.7%
定期	156,379	156,123	256	0.2%	154,187	2,192	1.4%
定期外	110,060	110,830	△770	△0.7%	110,488	△428	△0.4%

### 旅客運輸収入

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
旅客運輸収入	56,045	56,411	△366	△0.6%	55,744	300	0.5%
定期	19,638	19,716	△78	△0.4%	19,352	286	1.5%
定期外	36,406	36,694	△287	△0.8%	36,392	14	0.0%

2

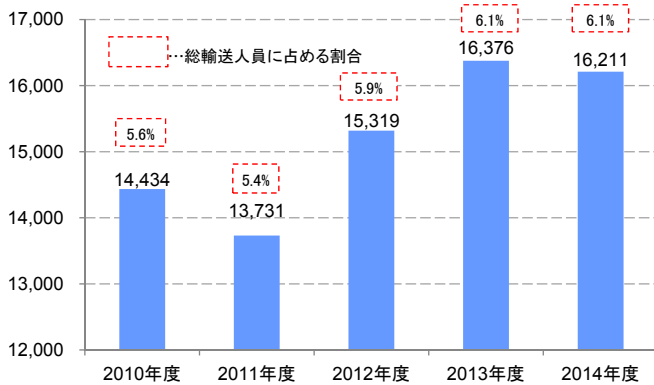
# 成田空港発着鉄道輸送人員



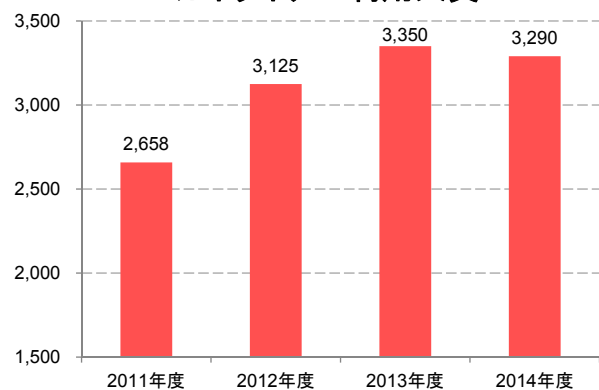
(単位:千人)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
空港発着 輸送人員	16,211	16,376	△165	△1.0%	16,158	53	0.3%
内 スカイライナー 利用人員	3,290	3,350	△60	△1.8%	3,212	78	2.4%

空港発着輸送人員 (単位:千人)



スカイライナー利用人員 (単位:千人)



3

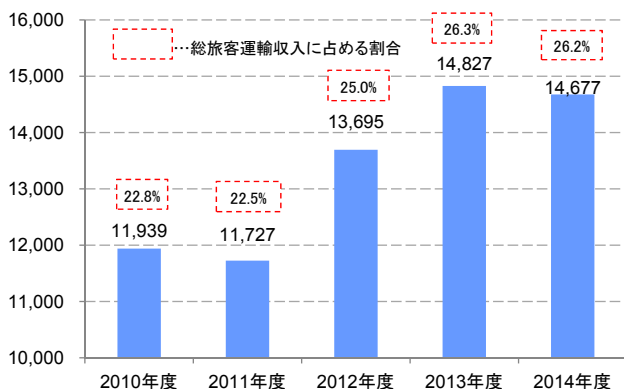
# 成田空港発着旅客運輸収入



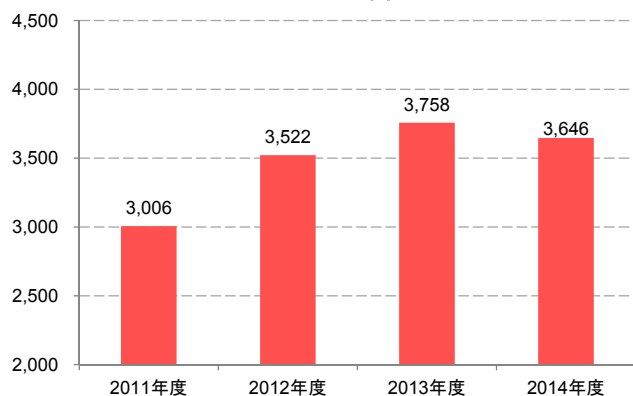
(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 前回予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率
空港発着 旅客運輸収入	14,677	14,827	△149	△1.0%	14,576	101	0.7%
内 スカイライナー 料金収入	3,646	3,758	△111	△3.0%	3,593	53	1.5%

空港発着旅客運輸収入 (単位:百万円)



スカイライナー料金収入 (単位:百万円)



4

1 経営概況

2 京成グループの取り組み

3 2015年3月期 連結決算

4 2016年3月期 連結業績予想

5 連結業績の推移

6 参考資料

## 海外における乗車券販売体制

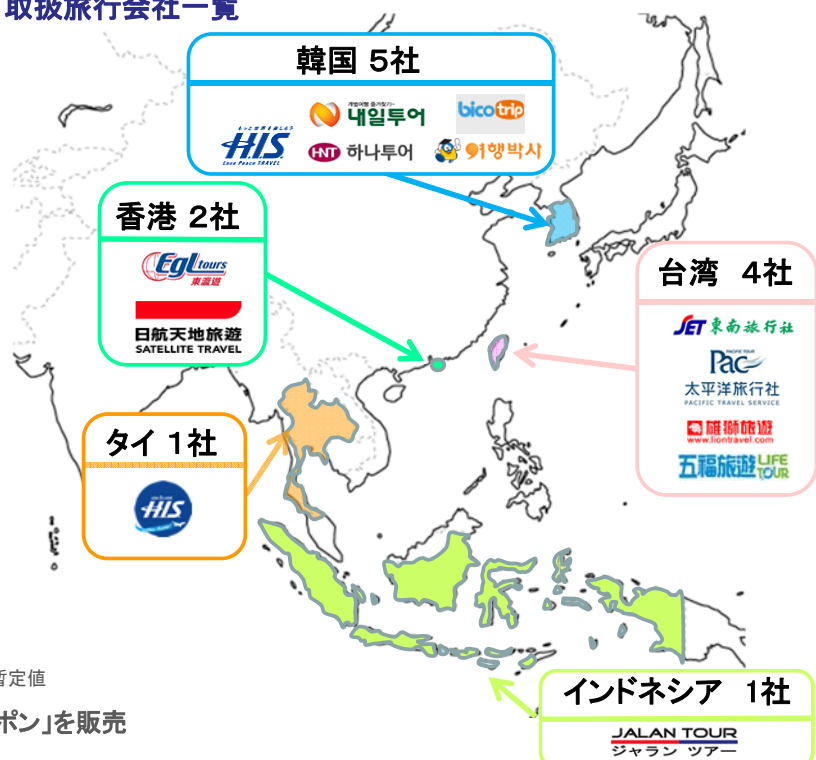
## 訪日外客数

(単位:万人)

	2014年	2013年	伸率
台湾	283	221	28.0%
韓国	275	246	12.2%
中国	241	131	83.3%
香港	93	74	24.1%
米国	89	80	11.6%
タイ	66	45	45.0%
豪州	30	24	23.8%
マレーシア	25	18	41.4%
シンガポール	23	19	20.4%
英国	22	19	14.7%
フィリピン	18	11	70.0%
インドネシア	16	14	16.0%
その他	160	134	19.8%
合計	1,341	1,036	29.4%

出典: 日本政府観光局(JNTO)※2014年の数値は暫定値

## 取扱旅行会社一覧



➤ 海外の旅行会社で「スカイライナークーポン」を販売

➤ 取扱旅行会社、販売券種の拡大を推進

—新たに「Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket」を台湾、韓国、香港の旅行会社で販売開始(2015年4月)



## 台北国際旅行博への出展

- スカイライナー・成田スカイアクセス及び各種企画乗車券をPR(2014年11月)



## 韓国での宣伝強化

- 韓国のKORAIL空港鉄道との合意に基づき、広告看板の相互掲出、パンフレットの相互配布を開始(2015年3月)



ソウル駅ホームに掲出した広告看板

## 海外向け広告宣伝

- 台湾、韓国、中国、香港、タイ、シンガポール、オーストラリアの検索サイトに、リスティング広告を掲出
- 台湾、タイ、香港、中国の旅行者向けガイドブックにスカイライナーの広告を出稿



# 成田空港輸送の利便性、認知度向上

## 訪日外国人向け無料Wi-Fiサービス

- スカイライナー車内、成田空港駅など、全15駅で訪日外国人向け無料Wi-Fiサービスを開始(2015年4月)



## LCC機内でのチケット販売

- 「スカイライナーバリューチケット」を機内で販売  
ーバニラエア、Peach、Spring Japan(春秋航空日本)  
タイ・エアアジアX(2014年12月)
- 「Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket」をPeach機内で販売開始(2015年4月)



## LCC就航先での広告宣伝

- 札幌、福岡で、当社線のPR広告看板を掲出



JR札幌駅ホームに掲出した広告看板

## 鉄道利用者の取り込み

- ターミナル2階へ自動券売機、発車時刻表示機等を設置
- 空港第2ビル駅の駅名標を「第2旅客ターミナル」から「成田第2・第3ターミナル」へ変更



## 第3ターミナルへのバス路線延伸

- 成田空港乗入れ各線を第3ターミナルへ延伸
- 空港内ターミナル連絡バスの増便
  - 新たに第3ターミナルと第2ターミナル間を結ぶルートを運行開始(NAAから受託)

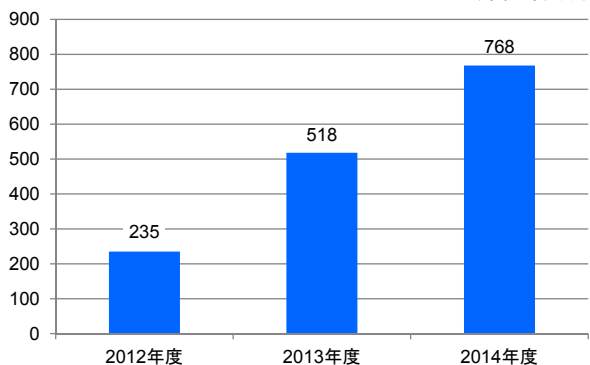


8

# 東京シャトルの実績

### 東京シャトル運送収入推移

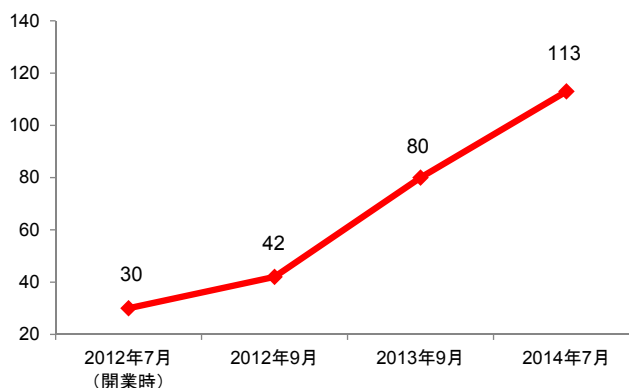
(単位: 百万円)



※リムジンパッセンジャーサービス運行分を除く

### 東京シャトル運行便数推移

(単位: 便)



## 東京シャトル200万人達成

- 成田空港～東京駅間を結ぶ東京シャトルの利用人員が開業からの累計で200万人を突破(2015年4月)
  - 2014年3月の100万人達成から約1年で達成



お客様200万人達成記念式典

9

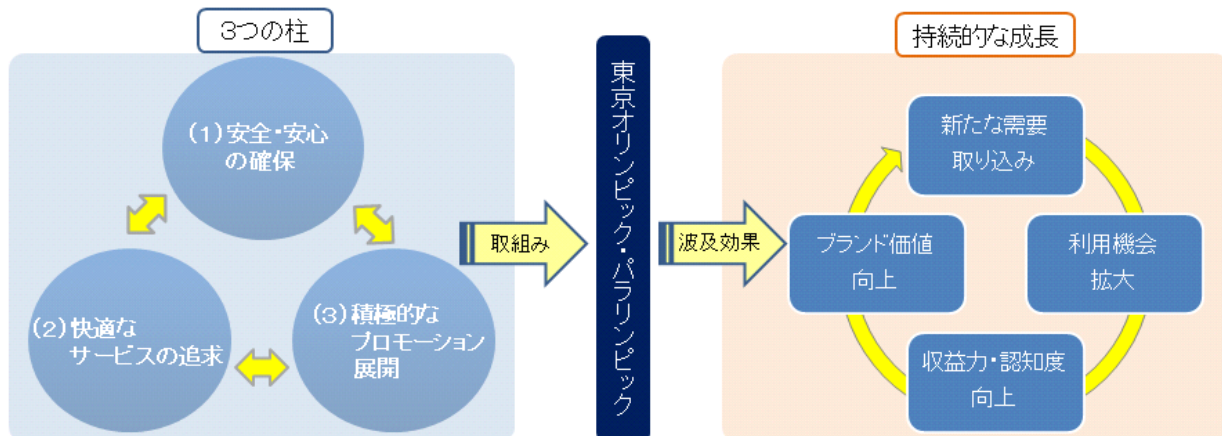


## 2020年東京オリンピック・パラリンピック対応推進委員会

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、グループ横断的な委員会を立ち上げ(2014年7月)

### 大会開催に向けた基本的な考え方

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、商品・サービスのさらなる進化に、京成グループを挙げて積極的に取り組み、持続的な成長を目指す。



10

## 沿線での集客施策

### 鉄道利用の喚起

- 「成田開運きっぷ」を販売
  - 成田山への観光需要を喚起
- 酒々井プレミアムアウトレットへ行こうキャンペーン
  - 京成グループのアクセス認知度の向上を目的に実施
- 「下町日和きっぷ」を販売
  - 京成線都内エリアが1日乗り降り自由



### 3300形車両引退イベント

- 車両の引退を記念し、臨時列車を運転 (2015年2月)
  - 約1,400名が臨時列車に乗車
  - 記念乗車券は即日売完



### 駅設備のリニューアル

- 空調設備を備えたウォークインタイプのお客様案内カウンターを設置 (2015年3月)
  - 京成成田駅
- 運行情報ディスプレイを43駅45カ所に増設 (2015年3月)
  - 全65駅中61駅(72カ所)に設置済み



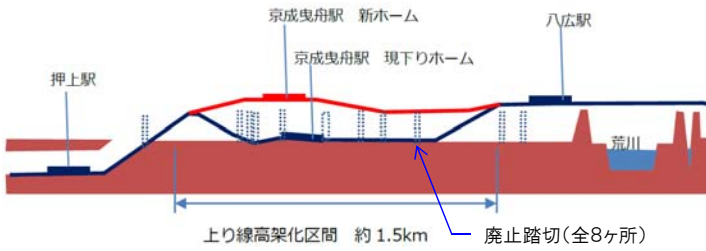
11

# 安全・安心への取り組み

## 墨田区内連続立体交差化推進

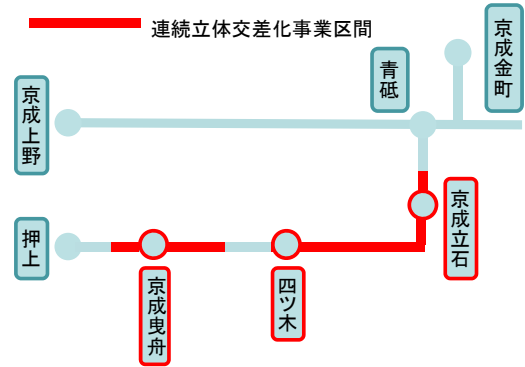


上り線に続き、下り線の高架化が進む  
(京成曳舟駅周辺)



- 連続立体交差化工事を推進中
- 事業区間内8箇所の踏切を廃止
- 高架下スペースの有効活用を検討

## 葛飾区内連続立体交差化推進



- 用地買収並びに調査を実施中
- 事業区間内11箇所の踏切を廃止

## 耐震補強工事

- 高架橋柱のほか、トンネル中柱についても耐震補強工事を実施

# バス・タクシー事業の取り組み

## シャトル☆セブン1,000万人達成

- 「東京ディズニーリゾート®」～小岩・亀有駅を結ぶシャトル☆セブンの利用人員が1,000万人を達成(2014年7月)



## 観光タクシーの運行

- 成田周辺の農家でイチゴ狩りなどが体験可能な農業体験観光タクシーを運行(2014年4月)  
—トランジット客の取り込みにも対応



## タクシー事業エリアの拡大

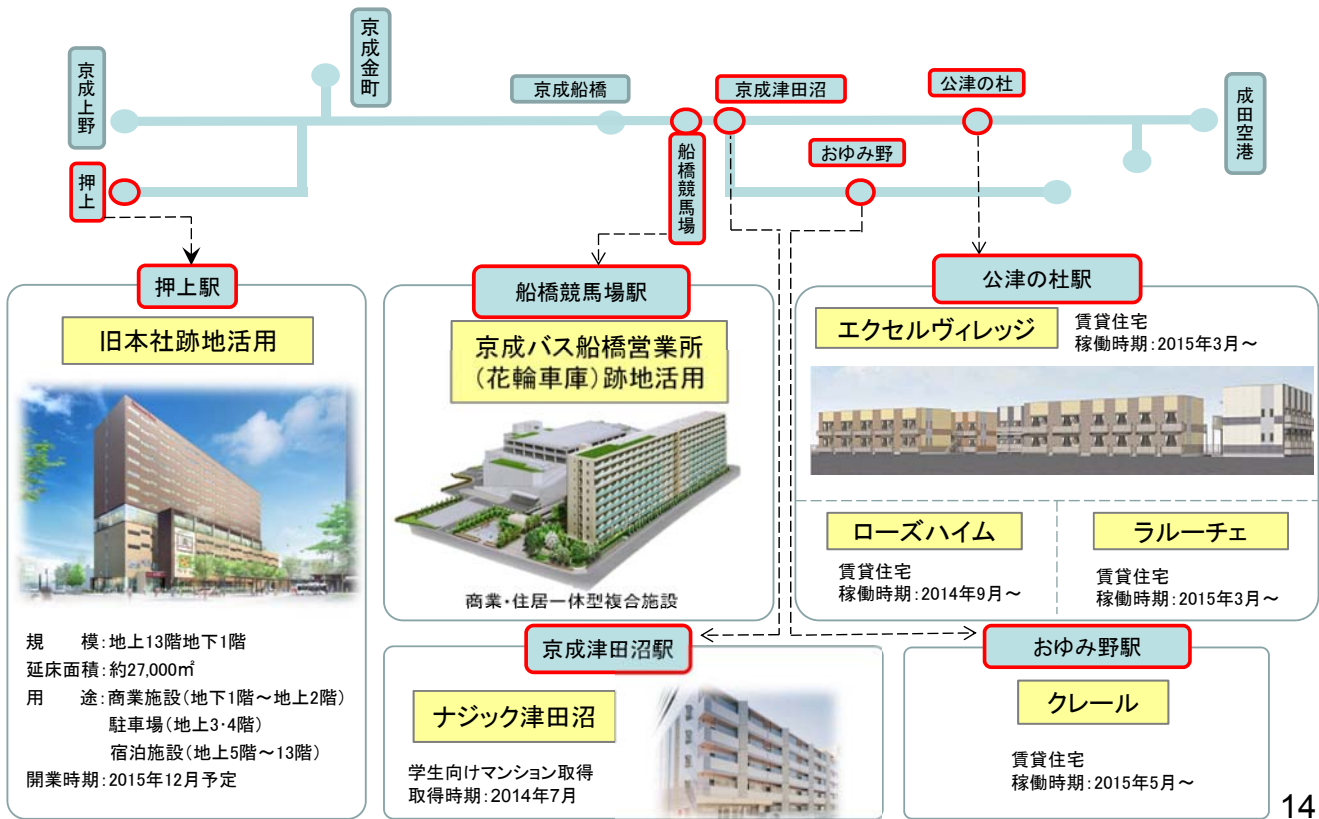
- 船橋交通千葉営業所の新設(2014年12月)  
—JR京葉線沿線及び幕張新都心での新規顧客開拓





# 京成エリアの開発①

➤ グループ会社資産の有効活用により、賃貸資産の拡充を図ると共に、マンション開発により、沿線を活性化



# 京成エリアの開発②

## 京成バス船橋営業所(花輪車庫)跡地活用



**サングランド船橋宮本**  
敷地面積:約9,000㎡  
総戸数:246戸  
引渡時期:ウエストレジデンス 2015年3月  
イーストレジデンス 2015年9月予定

**賃貸商業施設(コーナン)**  
敷地面積:約12,000㎡  
延床面積:約23,000㎡  
用途:商業施設  
開業:2015年3月12日

- 商業・住居一体型複合施設(総開発面積約21,000㎡)の開発を推進
- 一分譲マンション「サングランド船橋宮本」
  - ウエストレジデンスの販売対象住戸は完売
  - 賃貸商業施設コーナン(2015年3月開業)

## 駅売店のコンビニエンスストア化

- 当社線駅構内で展開する売店のコンビニストア化を推進  
— 2015年3月期に新たに11店舗を  
コンビニエンスストア化(計19店舗)



## ストア業の集客力強化

- リブレ京成において、店舗改装、不採算店舗の閉鎖を行い、集客力の強化と収益の改善を図る



改装したアルビス前原店

## イベントの開催(京成バラ園芸)

- バラの見頃に合わせ、京成バラ園にてイベントを開催



1 経営概況

2 京成グループの取り組み

**3 2015年3月期 連結決算**

4 2016年3月期 連結業績予想

5 連結業績の推移

6 参考資料



 年度の業績(前期比較)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減	増減率
営業収益	249,016	244,995	4,020	1.6
営業利益	24,313	24,244	68	0.3
(営業利益率)	9.8	9.9	—	—
経常利益	37,169	36,980	189	0.5
うち持分法投資利益	16,197	16,051	146	0.9
当期純利益	25,683	27,048	△ 1,365	△ 5.0
EBITDA倍率	7.6倍	8.0倍	—	—


※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)  
 なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

 年度の業績(前回予想比較)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 実績	2015年3月期 前回予想	増減	増減率
営業収益	249,016	248,400	616	0.2
営業利益	24,313	22,700	1,613	7.1
(営業利益率)	9.8	9.1	—	—
経常利益	37,169	34,900	2,269	6.5
うち持分法投資利益	16,197	15,100	1,097	7.3
当期純利益	25,683	24,800	883	3.6
EBITDA倍率	7.6倍	7.9倍	—	—

※前回予想は2014年10月31日付第2四半期決算短信発表値です。

 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 前回予想	増減
運輸業	135,319	135,062	256	134,700	619
流通業	70,096	72,167	△ 2,071	70,400	△ 303
不動産業	21,785	21,010	774	21,700	85
レジャー・サービス業	10,018	10,320	△ 302	10,000	18
建設業	27,117	21,801	5,316	25,200	1,917
その他の事業	5,006	4,927	79	5,000	6
計	269,344	265,290	4,054	267,000	2,344
消去又は全社	△ 20,328	△ 20,295	△ 33	△ 18,600	△ 1,728
連結	249,016	244,995	4,020	248,400	616

前期比

流通業

建設業

ストア業・百貨店業の減  
完成工事高の増

前回予想比

運輸業

建設業

鉄道事業及びバス事業の増  
完成工事高の増

19

 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 前回予想	増減
鉄道事業	71,829	72,587	△ 757	71,500	329
バス事業	41,926	41,068	857	41,600	326
タクシー事業	21,563	21,406	156	21,600	△ 36
運輸業計	135,319	135,062	256	134,700	619
ストア業	37,280	38,296	△ 1,015	37,000	280
百貨店業	26,341	27,188	△ 847	26,700	△ 358
その他	6,474	6,683	△ 208	6,700	△ 225
流通業計	70,096	72,167	△ 2,071	70,400	△ 303
不動産販売業	9,419	9,116	303	9,500	△ 80
不動産賃貸業	9,046	8,778	267	9,000	46
不動産管理業	3,320	3,116	204	3,200	120
不動産業計	21,785	21,010	774	21,700	85

前期比

バス事業

ストア業

百貨店業

乗合・貸切収入の増  
店舗閉鎖による減  
衣料品・食料品の売上減

前回予想比

鉄道事業

バス事業

百貨店業

定期収入の増  
乗合・高速収入の増  
衣料品・食料品の売上減

20

### ■ 営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 前回予想	増減
運輸業	15,917	17,308	△ 1,391	15,100	817
流通業	1,061	967	94	900	161
不動産業	5,586	4,630	955	5,200	386
レジャー・サービス業	30	135	△ 104	100	△ 69
建設業	952	721	231	800	152
その他の事業	433	284	148	300	133
計	23,981	24,047	△ 66	22,400	1,581
消去又は全社	332	197	134	300	32
連結	24,313	24,244	68	22,700	1,613

前期比

運輸業  
不動産業

鉄道事業の減  
不動産販売業の増

前回予想比

運輸業 鉄道事業及びバス事業の増

21

## 2015年3月期 連結決算(6)

### ■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 前回予想	増減
鉄道事業	11,657	13,465	△ 1,808	11,400	257
バス事業	3,550	3,247	303	3,000	550
タクシー事業	708	595	113	700	8
運輸業計	15,917	17,308	△ 1,391	15,100	817
ストア業	714	477	237	500	214
百貨店業	37	104	△ 67	100	△ 62
その他	309	385	△ 75	300	9
流通業計	1,061	967	94	900	161
不動産販売業	1,134	493	640	900	234
不動産賃貸業	4,241	3,963	277	4,100	141
不動産管理業	210	173	37	200	10
不動産業計	5,586	4,630	955	5,200	386

前期比

鉄道事業  
不動産販売業

動力費・償却費等の増  
増収の影響、原価の減

前回予想比

鉄道事業  
バス事業

増収の影響  
増収の影響、燃料費の減

22



 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2014年3月期 実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	48,223	46,921	1,302
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 27,606	△ 19,401	△ 8,204
フリー キャッシュ・フロー	20,617	27,520	△ 6,902
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 22,294	△ 29,300	7,006
当期キャッシュ・フロー	△ 1,676	△ 1,780	104

23

 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2015年3月期	2014年3月期	増減	増減率	差異内訳
流動資産	91,761	89,361	2,399	2.7	
固定資産	690,393	669,883	20,509	3.1	投資有価証券の増
<b>資産合計</b>	<b>782,257</b>	<b>759,388</b>	<b>22,868</b>	<b>3.0</b>	
流動負債	219,553	191,969	27,584	14.4	
固定負債	295,081	325,939	△ 30,857	△ 9.5	
<b>負債合計</b>	<b>514,635</b>	<b>517,908</b>	<b>△ 3,273</b>	<b>△ 0.6</b>	社債・借入金の減
自己資本	260,918	236,163	24,754	10.5	
<b>純資産合計</b>	<b>267,622</b>	<b>241,480</b>	<b>26,141</b>	<b>10.8</b>	利益剰余金の増
<b>負債純資産合計</b>	<b>782,257</b>	<b>759,388</b>	<b>22,868</b>	<b>3.0</b>	
<b>自己資本比率</b>	<b>33.4</b>	<b>31.1</b>	—	—	

24

1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2015年3月期 連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

## 2016年3月期 連結業績予想(1)


### ■ 次期の業績予想(当期比較)

(単位: 百万円、%)

	2016年3月期 予想	2015年3月期 実績	増減	増減率
営業収益	247,000	249,016	△ 2,016	△ 0.8
営業利益	23,700	24,313	△ 613	△ 2.5
(営業利益率)	9.6	9.8	—	—
経常利益	37,300	37,169	130	0.3
うち持分法投資利益	16,700	16,197	502	3.1
当期純利益 ※1	27,100	25,683	1,416	5.5
EBITDA倍率 ※2	7.3倍	7.6倍	—	—

※1 2016年3月期予想については「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しています。


※2 EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)  
なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 予想	2015年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	136,200	135,319	880	0.7	
流通業	70,200	70,096	103	0.1	
不動産業	20,100	21,785	△ 1,685	△ 7.7	不動産販売業の減
レジャー・サービス業	9,800	10,018	△ 218	△ 2.2	
建設業	23,200	27,117	△ 3,917	△ 14.4	完成工事高の減
その他の事業	5,000	5,006	△ 6	△ 0.1	
計	264,500	269,344	△ 4,844	△ 1.8	
消去又は全社	△ 17,500	△ 20,328	2,828	—	
連結	247,000	249,016	△ 2,016	△ 0.8	

26


 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 予想	2015年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	72,000	71,829	170	0.2	
バス事業	42,200	41,926	273	0.7	
タクシー事業	22,000	21,563	436	2.0	稼働率の増
運輸業計	136,200	135,319	880	0.7	
ストア業	37,200	37,280	△ 80	△ 0.2	
百貨店業	26,300	26,341	△ 41	△ 0.2	
その他	6,700	6,474	225	3.5	
流通業計	70,200	70,096	103	0.1	
不動産販売業	7,500	9,419	△ 1,919	△ 20.4	販売戸数の減
不動産賃貸業	9,700	9,046	653	7.2	新規物件の稼働による増
不動産管理業	2,900	3,320	△ 420	△ 12.7	修繕工事の減
不動産業計	20,100	21,785	△ 1,685	△ 7.7	

27




 営業利益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 予想	2015年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	15,700	15,917	△ 217	△ 1.4	バス事業の減
流通業	1,100	1,061	38	3.6	
不動産業	5,500	5,586	△ 86	△ 1.5	
レジャー・サービス業	200	30	169	556.0	
建設業	800	952	△ 152	△ 16.0	
その他の事業	300	433	△ 133	△ 30.7	
計	23,600	23,981	△ 381	△ 1.6	
消去又は全社	100	332	△ 232	△ 69.9	
連結	23,700	24,313	△ 613	△ 2.5	

28

 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 予想	2015年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	11,600	11,657	△ 57	△ 0.5	
バス事業	3,200	3,550	△ 350	△ 9.9	償却費、人件費等の増
タクシー事業	900	708	191	27.0	
運輸業計	15,700	15,917	△ 217	△ 1.4	
ストア業	700	714	△ 14	△ 2.0	
百貨店業	100	37	62	167.7	
その他	300	309	△ 9	△ 3.2	
流通業計	1,100	1,061	38	3.6	
不動産販売業	800	1,134	△ 334	△ 29.5	減収の影響
不動産賃貸業	4,600	4,241	358	8.5	増収の影響
不動産管理業	100	210	△ 110	△ 52.5	
不動産業計	5,500	5,586	△ 86	△ 1.5	

29

1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2015年3月期 連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

## 連結業績の推移(1)

### 業績の推移

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想
営業収益	230,282	244,059	244,995	249,016	247,000
運輸業	126,985	131,886	135,062	135,319	136,200
営業利益	19,922	22,984	24,244	24,313	23,700
運輸業	14,142	16,780	17,308	15,917	15,700
営業外収益	9,595	13,935	18,439	18,418	18,200
持分法投資利益	7,201	11,564	16,051	16,197	16,700
営業外費用	7,277	6,317	5,704	5,562	4,600
支払利息	6,577	5,806	5,151	4,370	4,200
経常利益	22,240	30,602	36,980	37,169	37,300
当期純利益 ※	13,471	21,973	27,048	25,683	27,100

※2016年3月期予想については「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しています。

## 有利子負債残高等の推移

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想
借入金・社債等	384,345	369,342	345,688	329,342	316,000
リース債務	23,004	24,180	23,545	24,158	24,000
合計(有利子負債残高)	407,349	393,522	369,234	353,501	340,000
EBITDA倍率	9.7倍	8.8倍	8.0倍	7.6倍	7.3倍

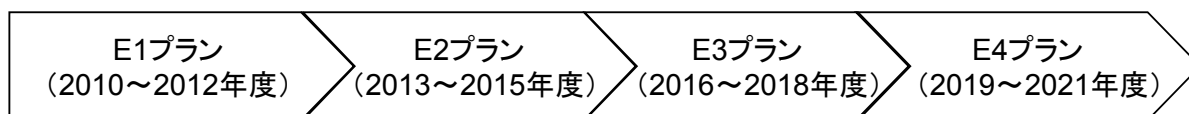


1	経営概況
2	京成グループの取り組み
3	2015年3月期 連結決算
4	2016年3月期 連結業績予想
5	連結業績の推移
6	参考資料

## 長期経営計画「Eプラン」の概要

### 名称・計画期間

長期経営計画「Evolution Plan」(=Eプラン)[2010年度～2021年度 12ヶ年]



### 長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部(特に京成線・新京成線・北総線沿線)並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

### 長期数値目標

#### 2021年度における連結決算数値

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10%以上
有利子負債残高	3,500億円以下
(EBITDA倍率※)	7倍以下)

※EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

## 中期経営計画「E2プラン」の概要(1)

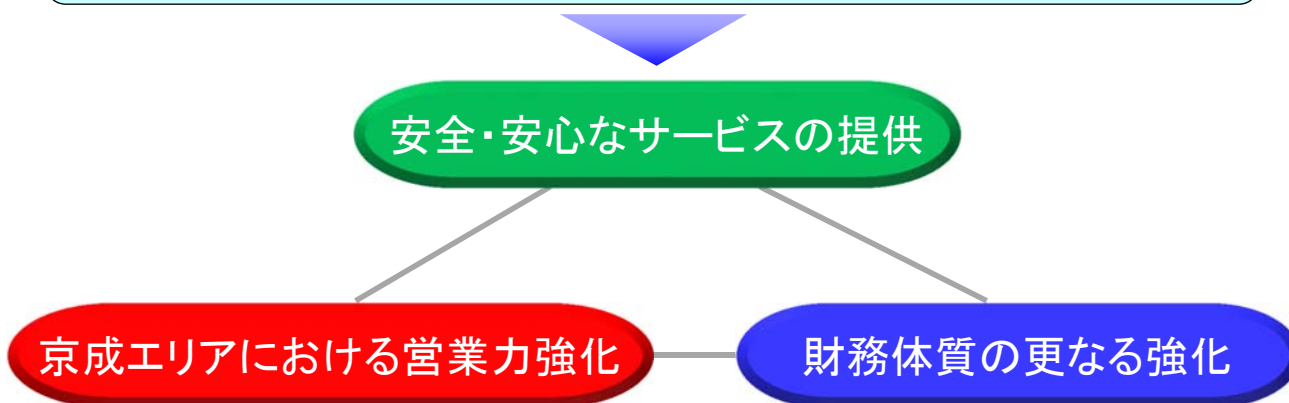
### 名称・計画期間

中期経営計画「E2プラン」(2013年度～2015年度 3ヶ年)



### 基本的な考え方

コア事業である運輸業を中心とした堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す



33

## 中期経営計画「E2プラン」の概要(2)

### 基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

34

## 中期経営計画「E2プラン」の概要(3)

### 数値目標

	2015年度(予想)	E2プラン数値目標 (2015年度)
営業利益	237億円	230億円以上
(営業利益率)	(9.6%)	(9.5%以上)
経常利益	373億円	310億円以上
有利子負債残高	3,400億円	3,550億円以下
(EBITDA倍率)	(7.3倍)	(7.7倍以下)

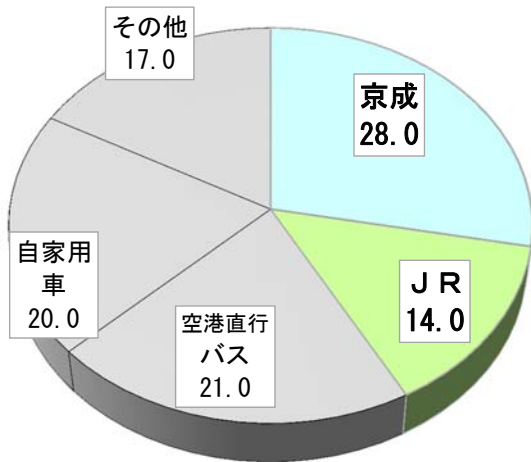
※1 EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

## 中期経営計画「E2プラン」の概要(4)

		2015年度 予想	2015年度 E2プラン	増減
運輸業	営業収益	1,362億円	1,339億円	23億円
	営業利益	157億円	159億円	△2億円
流通業	営業収益	702億円	759億円	△57億円
	営業利益	11億円	12億円	△1億円
不動産業	営業収益	201億円	182億円	19億円
	営業利益	55億円	52億円	3億円
レジャー・サービス業	営業収益	98億円	113億円	△15億円
	営業利益	2億円	3億円	△1億円
建設業	営業収益	232億円	229億円	3億円
	営業利益	8億円	7億円	1億円
その他の事業	営業収益	50億円	51億円	△1億円
	営業利益	3億円	2億円	1億円
合計 (連結修正後)	営業収益	2,470億円	2,480億円	△10億円
	営業利益	237億円	230億円	7億円

# 成田空港アクセス(1)

## 成田空港への交通アクセスシェア



	2014年	2012年	増減
出発旅客数(人)	47,714	38,282	+9,432
鉄道利用者数(人)	20,040	17,610	+2,430
鉄道の占める割合(%)	42%	46%	△4%
京成電鉄	28%	32%	△4%
スカイライナー	9%	10%	△1%
スカイライナー以外	19%	22%	△3%
JR東日本	14%	15%	△1%
NEX	9%	10%	△1%
NEX以外	5%	5%	0%

調査日:

2014年3月 14日(金)0時~24時(24時間)

2012年3月 9日(金)0時~24時(24時間)

成田国際空港(株)が2014年8月27日にリリースした「成田国際空港交通アクセス実態調査」を元に作成

# 成田空港アクセス(2)

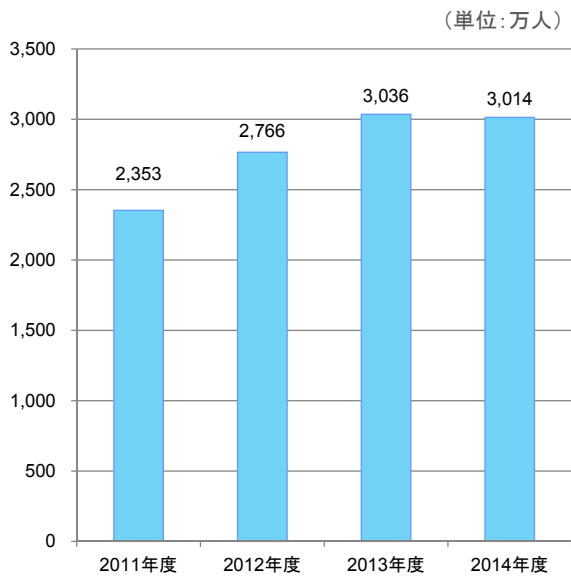
交通機関	経路	所要時分(注1)	運賃・料金(注2)
鉄道	 日暮里 第2ビル 空港 (成田スカイアクセス)	スカイライナー 36分(38分) 一般車[アクセス特急] 50分(53分)	スカイライナー2,470円(2,465円) 一般車1,240円(1,235円)
	 日暮里 第2ビル 空港 (本線)	一般車[快速特急] 66分(69分)	一般車1,030円(1,025円)
	 東京 第2ビル 空港 (総武・成田線・JRルート)	成田エクスプレス 50分(53分)	成田エクスプレス3,220円(3,217円) 一般車1,320円(1,317円)
バス	 東京 第2ビル 空港	東京シャトル 60分(約70分)	900円(注3) ※便数:113便
	 東京 第2ビル 空港	80分(約85分)	3,100円

注1:所要時分は最短列車・バスの発駅から空港第2ビル駅まで、( )内は成田空港駅までのデータ

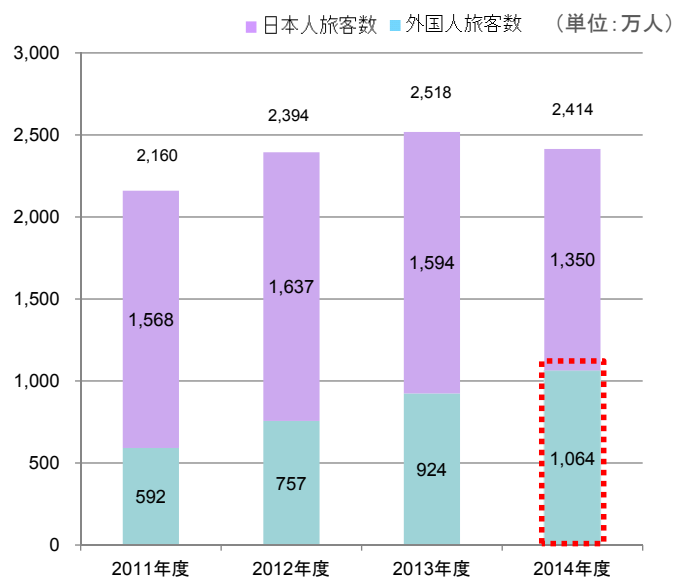
注2:運賃・料金における( )内は、交通系ICカードを利用した場合

注3:予約なしで乗車する際の運賃は1,000円(東京駅発の早朝深夜便のみ2,000円)

## 航空旅客数の推移(国際線+国内線) ※トランジット客除く



## 航空旅客数の推移(国際線) ※トランジット客除く



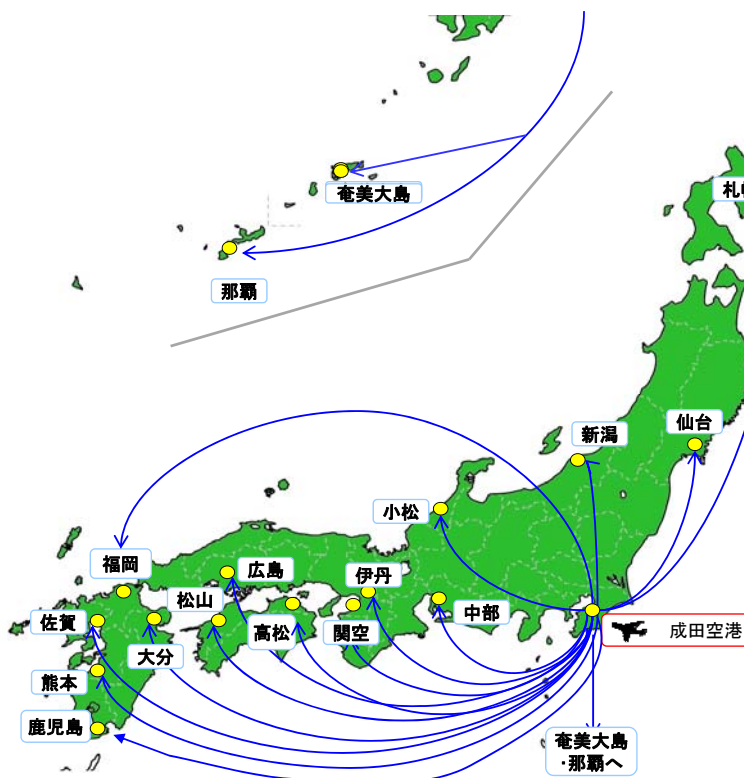
【成田国際空港株式会社発表資料に基づく】

➤ 2014年度の航空旅客数は、前年を下回る

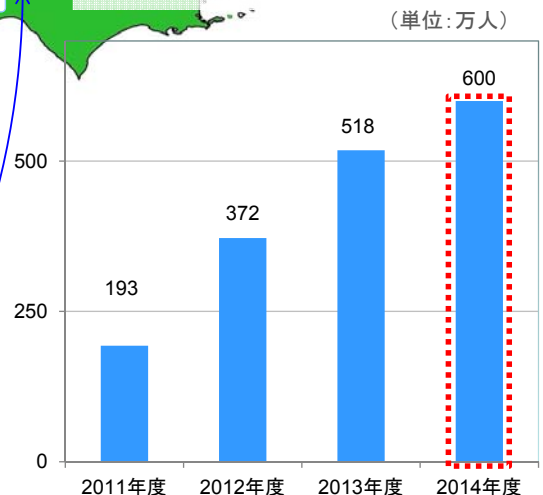
➤ 2014年度の外国人旅客数は、初めて1,000万人を突破し開港以来最高を記録

# 成田空港の国内線ネットワーク

## 成田空港のネットワーク 国内17空港



## 航空旅客数の推移(国内線)



【成田国際空港株式会社発表資料に基づく】

➤ LCC拡充により、開港以来最高を記録



# 沿線人口の推移



2015年4月、2010年4月（前中期経営計画「E1プラン」初年度）比

単位：千人

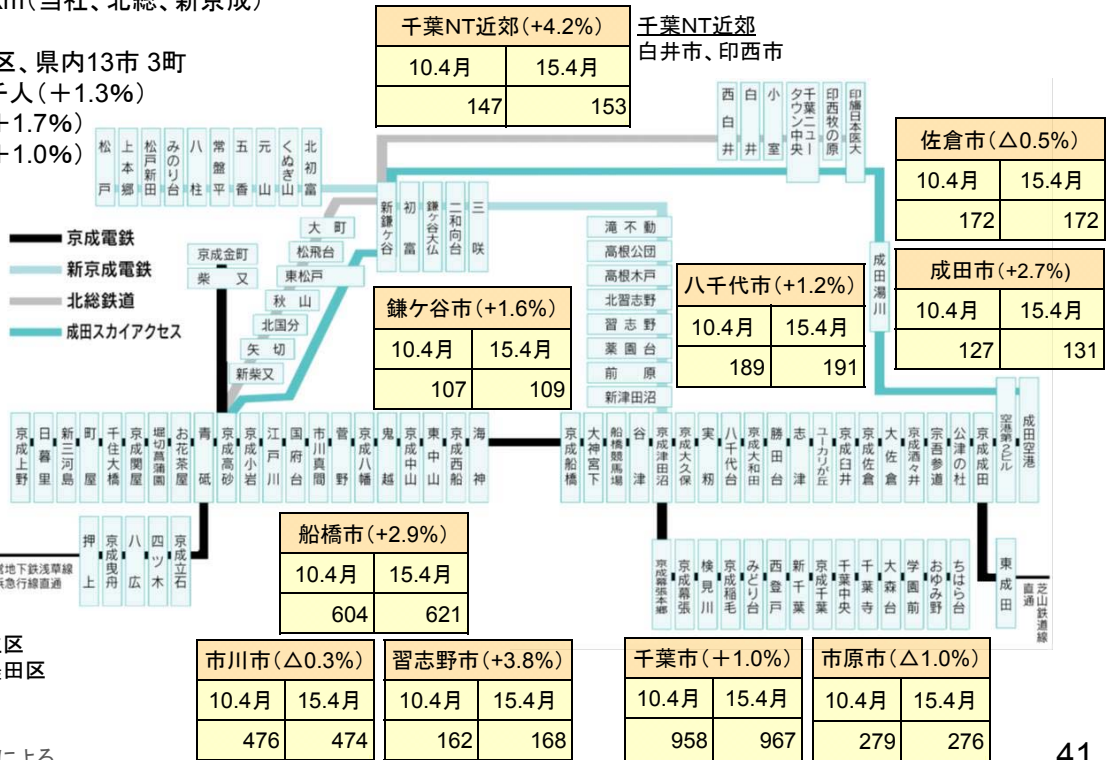
京成エリア 東京都東部・千葉県  
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)  
 駅数 102駅  
 自治体数 都内6区、県内13市 3町  
 沿線人口 6,210千人(+1.3%)  
 都内 2,466千人(+1.7%)  
 県内 3,744千人(+1.0%)

松戸市(△0.5%)	
10.4月	15.4月
485	482

都内6区(+1.7%)	
10.4月	15.4月
2,425	2,466

都内6区  
 台東区、荒川区、足立区  
 葛飾区、江戸川区、墨田区

数値は自治体公表値による



本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。

実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。